

「プライア漁港の衛生検査施設整備計画」



「プライア漁港の衛生検査施設整備計画」(51,255 ユーロ(約 550 万円)) ではカーボヴェルデ共和国の首都に位置するサンティアゴ島の CAIS 漁港運営委員会がプライア漁港において、衛生検査を継続的に実施できるよう検査器具及び器具洗浄のための水道整備等を行います。また、競り場の衛生向上のため、魚保管用保冷箱、魚処理台等の備品を整備します。

プライア漁港は我が国水産無償資金協力によって 1991 年に整備され、現在では流通拠点として、同島内の人々にとって重要なタンパク源である水産物の供給を支えています。しかし、漁港の漁獲物の取扱状態が悪く、衛生管理体制が整っていないことから、消費者へ届けられるまでに漁獲物の鮮度が著しく悪化していることも多く、また、このため漁獲物が廉価にて引き取られ、零細漁業者及び仲買・小売業の女性達の生活を圧迫し、貧困の原因ともなっています。本案件により適切に漁獲物を扱うための備品整備を行うことで、衛生状況悪化の根本的な原因を取り除くことが可能となり、消費者へ安全な漁獲物を提供できるようになります。また、衛生管理により漁獲物の付加価値が向上し、零細漁業者約 550 人及び仲買人・小売業の女性達約 300～400 人の収入向上及び貧困からの脱却に貢献することが期待されます。